

謹んで新春のお慶びを申し上げます

本年も宜しくお願い申し上げます  
光寿会役員一同

年頭のご挨拶

頼成自治会委員長

林 建二



新年明けましておめでとうございます

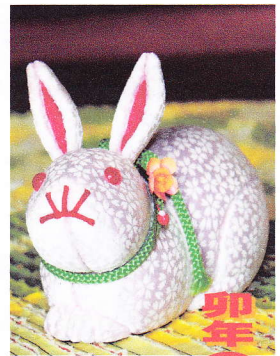
います。光寿会会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新春をお迎えになられましたことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より自治会、農地水環境事業の運営にご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。また、昨年の三月二十七日には、一般国道三五九号線砺波

東バイパス、久泉、頼成間の開通式に際し、光寿会の皆様には大変ご尽力を賜りありがとうございます。重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、光寿会は当地区における各種団体の中で最大の会員数を擁し、六十五歳から上の幅広い年代層の中で、毎月、の定例役員会の企画のもと、季節ごとの旅行、ペタンクなどをはじめ、第三水曜日実施の浮世亭による、いろんな勉強会、お楽しみ会、広報による各種の情報提供など活発な活動を展開しております。このような各種行事を通じて、会員の皆様方が、健康の保持をはかるとともに、コミュニケーションの場として、これからも多くの会員の方々が参加され、会員相互の親睦をさらに図られるよう願

っております。年頭に当たり会長さんをはじめ、役員、会員の方々の日頃のご尽力に敬意と感謝を申し上げますとともに、光寿会の一層の発展、会員各位のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



卯年の福運もたらす

年男と年女

福運をもたらす年男、年女をご紹介します。  
兎 林すみ子さん作

大正四年 (乙卯 きのこのう) 生まれ

林 あや子様 公文名

昭和二年 (丁卯 ひのこのう) 生まれ

林 弥壽次様 川原

林 香月子様 善導

荒木 ツヤ様 善導

林 みよ子様 坂東

昭和十四年 (己卯 つちのこのう) 生まれ

林 はるみ様 公文名

八田 正美様 林

高島 夏子様 川原

林 綾乃様 川原

林 ユキ子様 公文名

坂東 千寿子様 坂東

八田 絹子様 正覚

坂東 絹子様 正覚

和子様 公文名

祥子様 公文名

文字様 善導

昇宗様 公文名

卯年にちなんで

「兎」にまつわる説話ひとつ



お孫さんに話してあげてください。  
昔あつたずもな。あるところ、あると

と猿がすんでいたと。三匹の獣たちは仏の教えに従って修行し、善行を行うことで、いつか人間に生まれ変わり菩薩の道を歩もうと考え、人助けをしたり、施しをしたりして一生懸命暮らしていったんだと。  
ある日、三匹の前に一人のお年寄りが現れた。年をとって、体も動かんし、誰も世話してく

れる者もおらん。お腹がすいて死にそうじゃ。助けてください」

猿は、早速山に入つて、木の実等の山の幸を集めてきたと。少しこずる狐はお寺の墓地へ行つて、お参りの人たちが備えた魚や食べ物、失敬してきたんだと。でも兎にはそんな力も、ワル知恵もありやせんだった。

思いあまつた兎は猿と狐に焚き火を用意してもらい、お年寄りに「どうか私の肉を食べてください」と言うと、止める間もなくその焚き火に飛びこんでしまつたんだと。

するとその時、みすばらしい老人の姿は神々しい「帝釈天」の姿に変わり、炎の中からウサギの体を救い上げたんだと。身を捨てて飢えた年寄りを助けようとした兎の行いに心打たれた帝釈天は、兎を天上の月宮殿に住まわせることにしたんだと。それ以来、月には兎の姿が浮かんでいふようになったんだと。どんどはれ。

これは十世紀(一一二〇)代頃に書かれた「今昔物語」の中の三獣行菩薩未知 兎焼身語(三)の獣、菩薩の道を行じ、兎 身を焼けること」というお話を、遠野の民話風にアレンジしたものです。それぞれのお孫さんに合うような語り口で話してあげてください。



年を越しましたが昨年二〇一〇年の世相を表すひと文字は「暑」となりました。  
応募数は過去最多の二十五万五千通あまりで、そのうち「暑」は最多の一万五千通余を占めました  
熱中症、野菜価格の高騰、餌不足によるクマの人里への出没。年末恒例の今年の漢字にはこれらの原因となった今夏の猛暑を端的に表す「暑」が選ばれました。

発表された十日、清水の舞台(本堂)を見渡せる奥の院舞台は、日中なのに厳しい冷え込みでしたが、森清範貫主は縦百五十センチ、横百三十センチの巨大な越前和紙に向き合い一気に「暑」と揮毫されました。「地球環境はこれでいいのか」とみんな思ったのでは。政治・経済では、なかなか理想に到達しないジレンマが人々を「熱く」させた」とは、書き終えたあとの森貫主の感想です。  
「来年の漢字」の予想を問われ、森貫主は「地球に育まれていく私たちが、みんな結ばれている」との思いから「結」が選ばれ、世界中が平和であってほしい」と語られました。まことに同感です。

季節の詩

夏の眉目初天神に似ていたり

林 香月子



